

## 国語教室はじまるよ~♡♡♡ あつまれ!ことばの森!!! @石川塾

日本の歌、「和歌」(短歌)という定型詩は、5(ご)・7(しち)・5(ご)・7(しち)・7(しち)ずつに区切り、合わせて31音の文字にすれば、いいんだよ。「歌う」のは、なんでもいいよ。たとえば、宿題/かき氷/うみ/プール/かわ/うなぎ/旅行/夏野菜/虫/麦わら帽子/水着/おんせん/ハワイ……あとは、「心のうごき・ゆれ」をとらえる言葉の森へ探しにでかけると…こわい、ふるえる、きびしい、あわてる、うかれる、はれる、なごむ、おだやか、いのり、めぐみ、などの気持ちを伝える「ことばのふしぎ・おどろき」に出会えるかもしれません。石川塾長がひとり一人みんなに和歌のつくり方を教えてくれるよ。

**日時** **8/3(月)~8/7(金)** **8/17(月)~8/21(金)**の通常授業内で受講できます!!

もちろん、コマ数を増やしてじっくり和歌づくりを楽しむのもよし♡

**持ち物** 「イッキ読み」の10ミリ方眼ノートを使用します。新しく用意する必要はありません。

夏休みの自由研究として学校に提出するのもいいですね。

今年は短い夏休みです。和歌を詠み…一緒に言葉を探しに…言葉の森へいきませんか。

出来た作品は、季刊誌『千の声 VOICE』に掲載・発表致します。

参加ご希望の方は、塾長までお知らせください。塾生以外の友だちお知り合いの方もどうぞ。

### ●石川塾のお友だちの作品 (和歌) ●

#### 石井雅也(町田つくし野小学校5年)

- ・初稿 <よるのご飯 朝からおでんを にこんでた 味がしみてて **とても**おいしい>
- 「とても」「すごく」を連発しないで、ほかの言葉に言いかえる工夫をしてみる
- ・再稿 <よる**の**ご飯 朝からおでん**を** にこんでた 味がしみてて **おいしいにおい**>
- 「の」「を」などの助詞は使わないで、言葉を少なくして全体を引き締める
- ・三稿 <**よるご飯 朝からおでん にこんでた 味がしみてて おいしいにおい**>掲載後

#### 大野愛理(町田第一小学校5年)

- ・初稿 <こんにやく たまごにつみれ おいしいな 全部私の 好きなもの**なんだよ**>
- 「なんだよ」などの話し言葉をそのまま使わずに、響きの美しい言葉にする
- ・再稿 <**こんにやく たまごにつみれ おいしいな 全部私の 好きなものだよ**>掲載

#### 岩澤武(町田第六小学校5年)

- ・初稿 <ねていると 犬が近くに 寄ってきて しっぽのむち**を** 顔にあててくる>
- 「を」などの助詞は使わずに、言葉を少なくして全体にリズムをつくる
- ・再稿 <**ねていると 犬が近くに 寄ってきて しっぽのむち 顔にあててくる**>掲載

#### 岩澤武(小5年)

- ・初稿 <試合前 体ブルブル むねドクドク きん張して 足動かない>
- 「字余り」「字足らず」でも、思い切って言葉を入れかえると印象が変わります
- ・再稿 <**試合前 むねドクドク きん張し 体ブルブル 足動かない**>掲載

#### 大野愛理(小5年)

- ・初稿 <寒いから 息をはくとね 白いりゅう**が** 口の中から 飛び出して来た>
- 「が」などの助詞を省略すると、心地よく言葉が整い、全体に動きが出てきます
- ・再稿 <**寒いから 息をはくとね 白いりゅう 口の中から 飛び出して来た**>掲載

#### 岩澤武(小5年)

- ・初稿 <**朝**になり めざましなると 「はいはい」と 答えてしまう 寝ぼけてる**朝**>
- 「朝になり」「寝ぼけてる朝」、「朝」を二度使わずに、ほかの表現をさがしてみる
- ・再稿 <**電話かな めざましなると 「はいはい」と 答えてしまう ねぼけてる朝**>掲載

(お友だちの作品は2008年12月22日石川ゼミ通信その753から)